

「滋賀の生涯学習社会づくり」についてのアンケート集計結果

県では、平成28年3月に「滋賀の生涯学習社会づくりに関する基本的な考え方」を策定し、一人ひとりの学びが、地域づくりにつながっていく生涯学習社会の現実に向けた取組を進めているところです。この基本的な考え方の策定から2年が経過したことから、今後の取組および計画等の策定に向けて、「生涯学習社会づくり」に関する県民の方々の意識調査を目的として、アンケート調査を実施しました。

(※本アンケートにおける「生涯学習」とは、「人が生涯にわたり学び、学習の活動を続けていくこと」を意味します。)

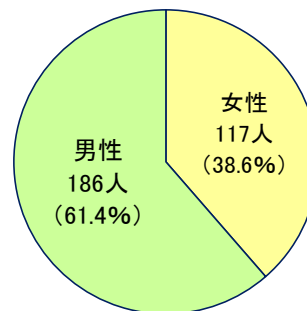
- ◆調査時期:平成30年2月
 - ◆対象者:県政モニター 396人
 - ◆回答数:303人(回答率 76.5%)
 - ◆担当課:教育委員会事務局 生涯学習課
- (※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

◆性別 [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
女性	117	38.6
男性	186	61.4
合計	303	100.0

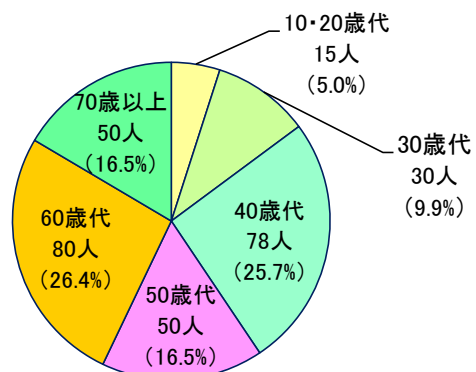
性別割合



◆年代 [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	15	5.0
30歳代	30	9.9
40歳代	78	25.7
50歳代	50	16.5
60歳代	80	26.4
70歳以上	50	16.5
合計	303	100.0

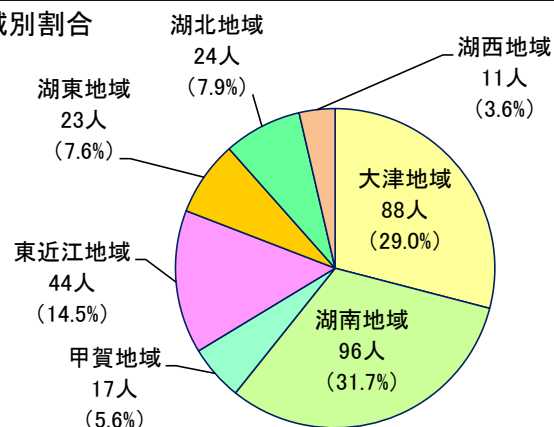
年代別割合



◆地域 [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	88	29.0
湖南地域	96	31.7
甲賀地域	17	5.6
東近江地域	44	14.5
湖東地域	23	7.6
湖北地域	24	7.9
湖西地域	11	3.6
合計	303	100.0

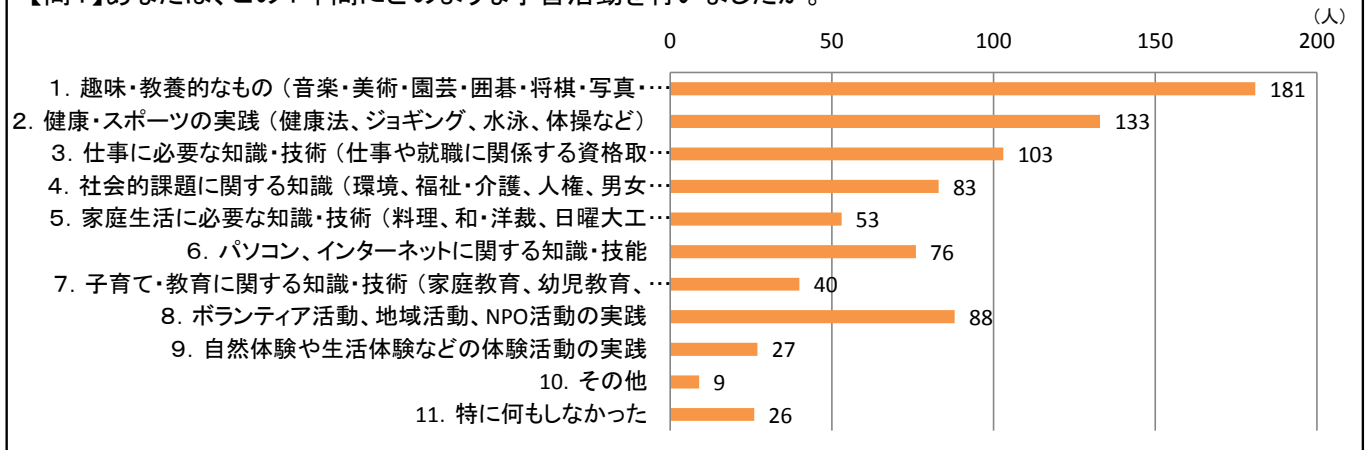
地域別割合



【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 趣味・教養的なもの(音楽・美術・園芸・囲碁・将棋・写真・歴史・文化など)	181	59.7
2. 健康・スポーツの実践(健康法、ジョギング、水泳、体操など)	133	43.9
3. 仕事に必要な知識・技術(仕事や就職に関係する資格取得講座や知識の習得など)	103	34.0
4. 社会的課題に関する知識(環境、福祉・介護、人権、男女共同参画、少子高齢化、国際化など)	83	27.4
5. 家庭生活に必要な知識・技術(料理、和・洋裁、日曜大工など)	53	17.5
6. パソコン、インターネットに関する知識・技能	76	25.1
7. 子育て・教育に関する知識・技術(家庭教育、幼児教育、青少年教育、教育問題など)	40	13.2
8. ボランティア活動、地域活動、NPO活動の実践	88	29.0
9. 自然体験や生活体験などの体験活動の実践	27	8.9
10. その他	9	3.0
11. 特に何もなかった	26	8.6

【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。



[10. その他]の内容(抜粋)

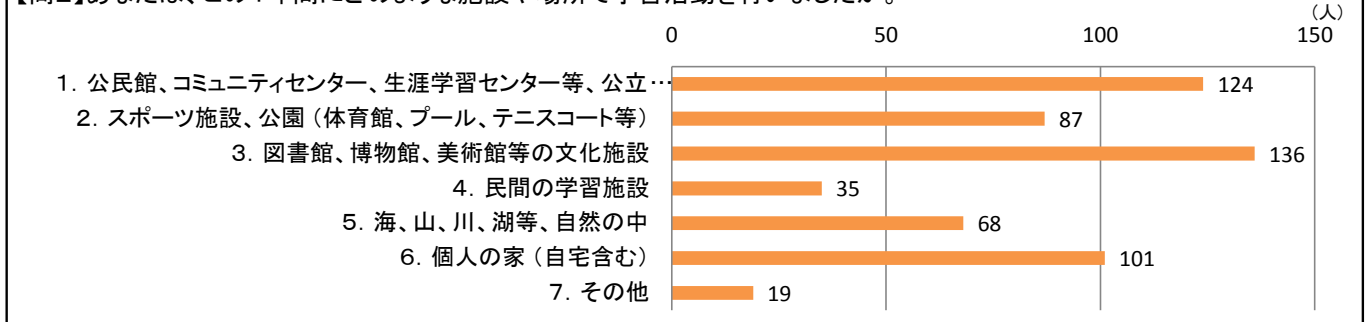
・宗教の学習 ・政治の課題、憲法改正について ・投資の勉強 ・新経済思想を発表 ・自分自身の新しいものとしてピアノの練習(認知症の予防)
 ・認知症キャラバンメイトに関する情報 など

【問2】[問1で、「1～10」を選択された方] あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。

(回答チェックはいくつでも) [n=277]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公民館、コミュニティセンター、生涯学習センター等、公立の社会教育・生涯学習施設	124	44.8
2. スポーツ施設、公園(体育館、プール、テニスコート等)	87	31.4
3. 図書館、博物館、美術館等の文化施設	136	49.1
4. 民間の学習施設	35	12.6
5. 海、山、川、湖等、自然の中	68	24.5
6. 個人の家(自宅含む)	101	36.5
7. その他	19	6.9

【問2】あなたは、この1年間にどのような施設や場所で学習活動を行いましたか。



[7. その他]の内容(抜粋)

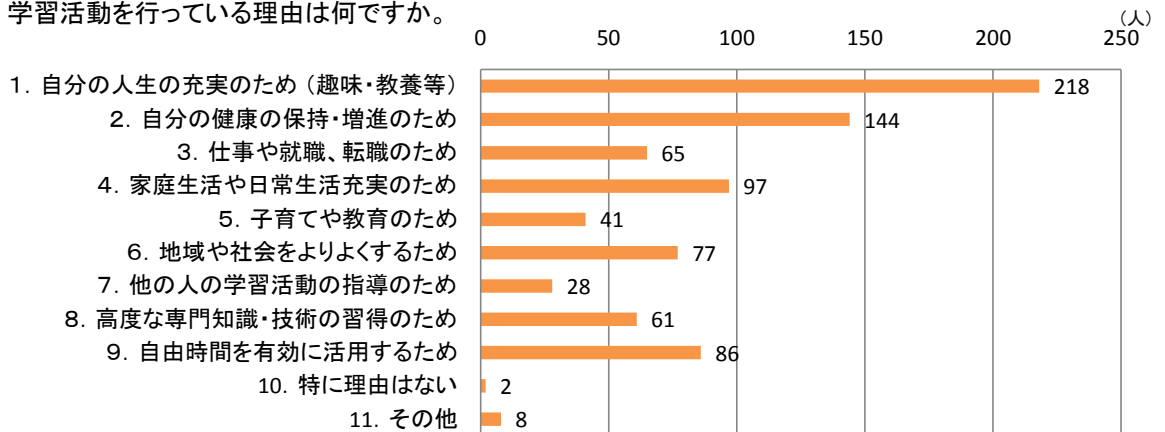
・企業のセミナー ・公共職業訓練 ・寺院 ・地域の集会所(100歳体操) ・職場 ・大学の講座 ・レイカディア大学 ・放送大学の大学院
 ・NHK通信教育 ・インターネット ・信楽のお店(陶器づくり体験) など

【問3】[問1で、「1～10」を選択された方] あなたが、学習活動を行っている理由は何ですか。

(回答チェックはいくつでも) [n=277]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 自分の人生の充実のため(趣味・教養等)	218	78.7
2. 自分の健康の保持・増進のため	144	52.0
3. 仕事や就職、転職のため	65	23.5
4. 家庭生活や日常生活充実のため	97	35.0
5. 子育てや教育のため	41	14.8
6. 地域や社会をよりよくするため	77	27.8
7. 他の人の学習活動の指導のため	28	10.1
8. 高度な専門知識・技術の習得のため	61	22.0
9. 自由時間を有効に活用するため	86	31.0
10. 特に理由はない	2	0.7
11. その他	8	2.9

【問3】あなたが、学習活動を行っている理由は何ですか。



[11. その他]の内容(抜粋)

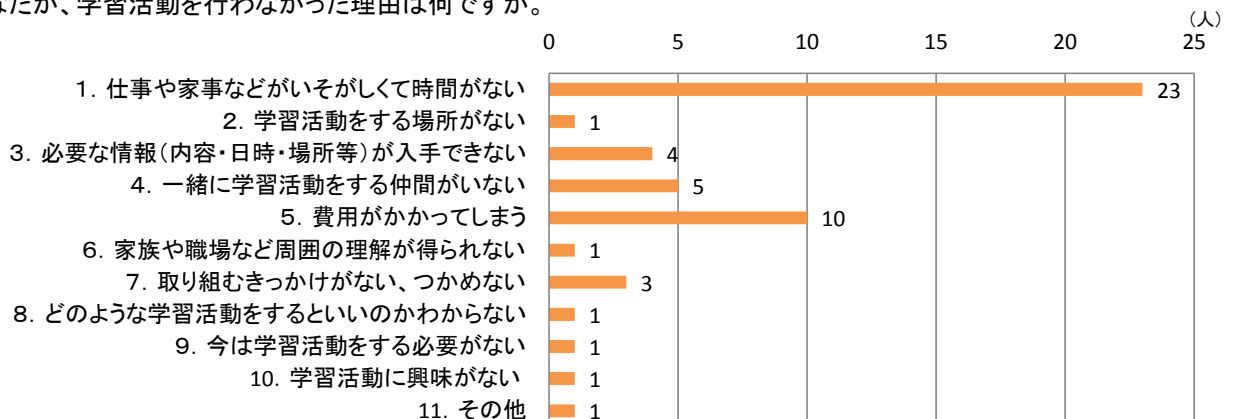
・多くの人と交流を続けるため ・地域での活動に役立てるため ・「如何に生きるか」のため など

【問4】[問1で、「11. 特に何もなかった」を選択された方] あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。

(回答チェックはいくつでも) [n=26]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事や家事などがいそがしくて時間がない	23	88.5
2. 学習活動をする場所がない	1	3.8
3. 必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない	4	15.4
4. 一緒に学習活動をする仲間がない	5	19.2
5. 費用がかかってしまう	10	38.5
6. 家族や職場など周囲の理解が得られない	1	3.8
7. 取り組むきっかけがない、つかめない	3	11.5
8. どのような学習活動をするとういのかわからない	1	3.8
9. 今は学習活動をする必要がない	1	3.8
10. 学習活動に興味がない	1	3.8
11. その他	1	3.8

【問4】あなたが、学習活動を行わなかった理由は何ですか。



[11. その他]の内容(抜粋)

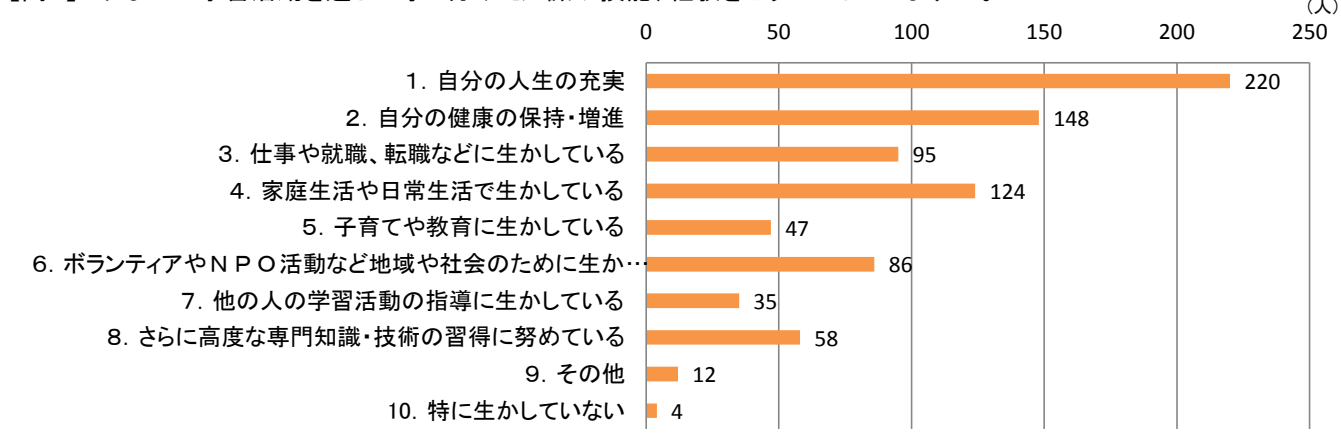
・身体障害のため障害に支障のない仕事に従事している

【問5】あなたは、これまでの学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をどう生かしていますか。

(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 自分の人生の充実	220	72.6
2. 自分の健康の保持・増進	148	48.8
3. 仕事や就職、転職などに生かしている	95	31.4
4. 家庭生活や日常生活で生かしている	124	40.9
5. 子育てや教育に生かしている	47	15.5
6. ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている	86	28.4
7. 他の人の学習活動の指導に生かしている	35	11.6
8. さらに高度な専門知識・技術の習得に努めている	58	19.1
9. その他	12	4.0
10. 特に生かしていない	4	1.3

【問5】これまでの学習活動を通じて身に付けた知識や技能、経験をどう生かしていますか。



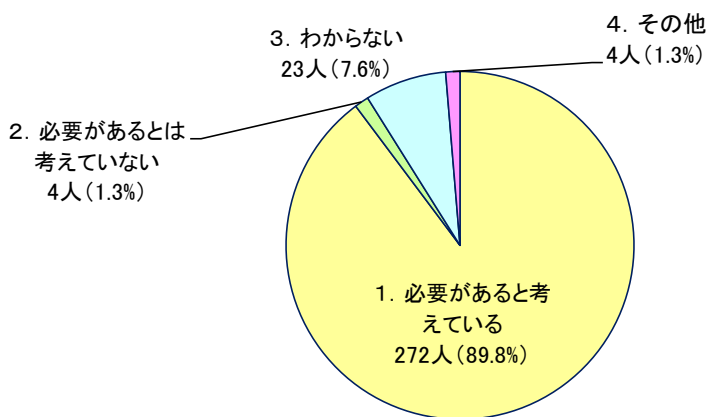
[9. その他]の内容(抜粋)

・自然に生きること、人と関わらない生き方 ・消費税抜本改正を提唱 ・他の人の人生の充実のため など

【問6】あなたは、今後も学習活動に取り組む必要があると考えていますか。(回答チェックは1つ) [n=303]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 必要があると考えている	272	89.8
2. 必要があるとは考えていない	4	1.3
3. わからない	23	7.6
4. その他	4	1.3
合 計	303	100.0

【問6】あなたは、今後も学習活動に取り組む必要があると考えていますか。



[4. その他]の内容(抜粋)

・若いころからの生き方がいつまで続くかの挑戦 ・自分の人生の充実であり健康増進なので「やりたいから」続けている ・自身の欲求 など

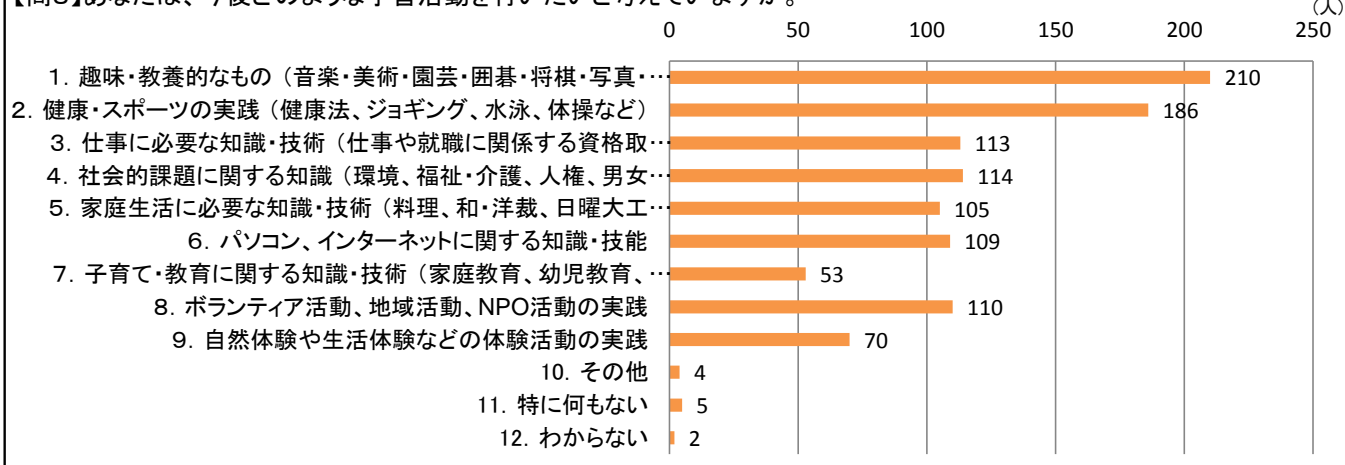
【問7】〔問6〕で、あなたがその選択肢を選んだ理由を記入してください。(任意)(抜粋)

【1. 必要があると考えている】	・いくつになっても社会に貢献できる人生でありたいから。
【1】	・まだまだ新しい知識を吸収したいと考えるため。
【1】	・より充実した人生を送れるように。
【1】	・何か目標持って生きることが大事と考えているから。
【1】	・何かを学ぶ知るということは楽しいことです。それを日常の生活に活かして実践していくとさらに楽しい。
【1】	・学んだこと経験したことは、たとえ結果がでなくても決して無駄ではなく、私という人間を豊かにしてくれるから。
【1】	・学習活動は楽しく充実したものであり、人生そのものであるから。
【1】	・興味のある事がまだまだたくさんあるから。
【1】	・継続することが大事であると感じるから。
【1】	・子供のため自分のために学習したい。
【1】	・高齢者として地域貢献のため。
【1】	・自身の人生をゆたかにするだけでなく、社会に還元できる可能性もあるから。
【1】	・社会人として常に新しい情報を得る必要があると考えるから。また、子どもの成長のため親も勉強する必要があると考えるため。
【1】	・常に問題意識をもち、それに対してチャレンジし、自分の人生ならびに家庭、社会のために自分を生かしていきたいから。
【1】	・人は人との係りの中で生きており、その手段がいろいろな趣味やボランティアであると考えている。
【1】	・人生を如何に生きるべきかについては、たった一度の人生なのでこれが正解という生き方を見い出せず、皆の共通の課題であり悩みである。従って、最後に自分の人生を振り返った時後悔しないためには「充実したい人生だった」と思えるようにしたい。それには、日常生活の充実、健康の保持・増進、残された時間の有効活用などのために何らかの学習活動を生涯継続する必要があると考える。
【1】	・人生を豊かに楽しく過ごすため。
【1】	・定年退職後、自己実現、社会貢献および健康長寿のために学習活動の継続が大切だと考えています。学習の家庭での新たな交流範囲の拡大やボランティアなどでの活動も行うことにより人生100年時代に必要と考えます。
【1】	・日常過ごしているだけでは知り合えない人と何かをするきっかけになり社会が広がるので。
【1】	・余生でなく、与えられた人生、つまり「与生」を一人でも多くの人と出会い続けて、健康で楽しい充実した日々を精一杯生きたいと願っている。そのためにはスポーツも含めて生涯学習が最適、不可欠である。人生百歳の時代である。
【1】	・人間は生きている限り、学ぶことがあり、また学ばなければならないことがあり、学ぶ材料はどこにでもある。
【1】	・生涯学習を通じて、人との交わり、健康増進、認知症予防、目標を持ちそれを実践する生活など、生活の質の向上のため。
【2. 必要があるとは考えていない】	・学習すれば知識やスキルが上がり、それを活かす事により自分もレベルアップできる。ひいては人生が豊かで充実したものになる。必ずしも必要ではないが、私は学習し続けたい。個人個人の向上心の問題かな。1人1人が向上心を持ち、自主的に学習するのが理想。
【3. わからない】	・基礎知識を得たが、発表・投稿の機会が不明。

【問8】あなたは、今後どのような学習活動を行いたいと考えていますか。(回答チェックはいくつでも)[n=303]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 趣味・教養的なもの(音楽・美術・園芸・囲碁・将棋・写真・歴史・文化など)	210	69.3
2. 健康・スポーツの実践(健康法、ジョギング、水泳、体操など)	186	61.4
3. 仕事に必要な知識・技術(仕事や就職に関係する資格取得講座や知識の習得など)	113	37.3
4. 社会的課題に関する知識(環境、福祉・介護、人権、男女共同参画、少子高齢化、国際化など)	114	37.6
5. 家庭生活に必要な知識・技術(料理、和・洋裁、日曜大工など)	105	34.7
6. パソコン、インターネットに関する知識・技能	109	36.0
7. 子育て・教育に関する知識・技術(家庭教育、幼児教育、青少年教育、教育問題など)	53	17.5
8. ボランティア活動、地域活動、NPO活動の実践	110	36.3
9. 自然体験や生活体験などの体験活動の実践	70	23.1
10. その他	4	1.3
11. 特に何もない	5	1.7
12. わからない	2	0.7

【問8】あなたは、今後どのような学習活動を行いたいと考えていますか。



【10. その他】の内容(抜粋)

・オリンピックもあることだし、娘と共に英語を学べたらいいなと思ってる ・より良い仕事をするため、家庭生活においても学ぶことで得られるものは多いと感じている ・宗教(仏教、キリスト教、イスラム教) ・年齢的にも興味がなくなってきた

県では、平成28年3月に「滋賀の生涯学習社会づくりに関する基本的な考え方」を策定し、「県民一人ひとりが主体的に学ぶことにより『市民性(※)』を育み、人と人、人と社会がつながることで、『新しい豊かさ』を実感でき、活力ある社会」を目指しています。

また、「社会の力で市民性を育み、活力ある地域を創生」することを基本目標とし、「市民性の育成」「地域創生」「次世代への継承」の3つを重視する視点としています。

生涯にわたって学び続け、その成果を生かして地域で活躍することは、地域の課題解決や活性化にもつながります。県は、地域づくりにつながる生涯学習を推進するため、県民の多様な学びや学びの成果を生かせる環境づくり等を支援しています。

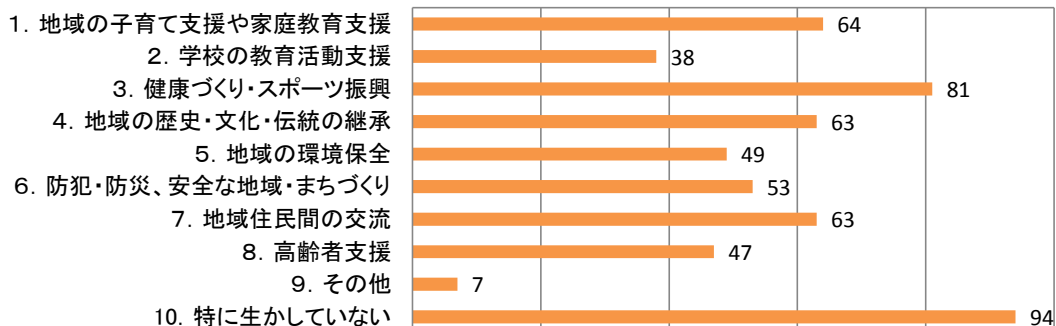
【(※)市民性 = 社会の一員として、社会に積極的に関わり、問題解決のために行動・実践できる資質】

【問9】あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。(回答チェックはいくつでも)[n=303]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 地域の子育て支援や家庭教育支援	64	21.1
2. 学校の教育活動支援	38	12.5
3. 健康づくり・スポーツ振興	81	26.7
4. 地域の歴史・文化・伝統の継承	63	20.8
5. 地域の環境保全	49	16.2
6. 防犯・防災、安全な地域・まちづくり	53	17.5
7. 地域住民間の交流	63	20.8
8. 高齢者支援	47	15.5
9. その他	7	2.3
10. 特に生かしていない	94	31.0

【問9】あなたは、学びの成果を地域づくりにどのように生かしていますか。

0 20 40 60 80 100 (人)



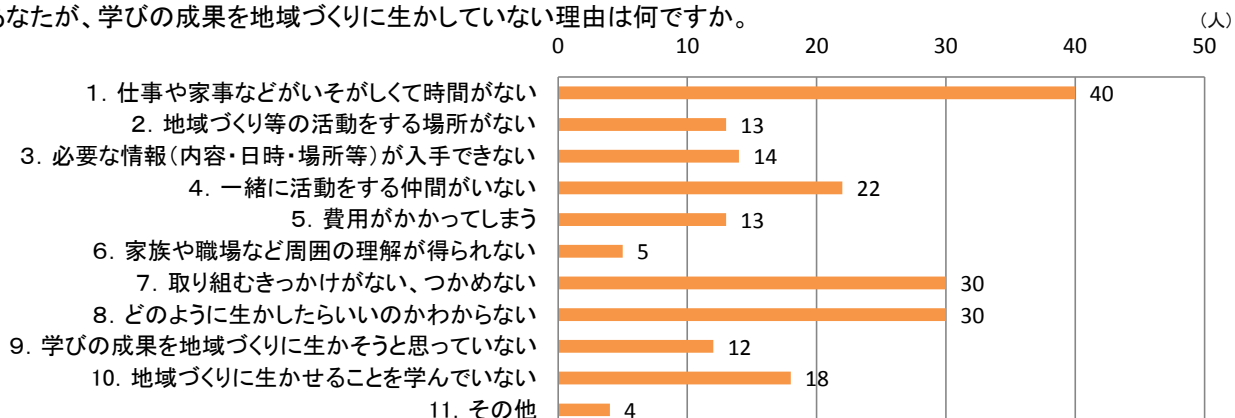
「9. その他」の内容(抜粋)

・外国文化の日本人向けへの発信 ・事業所の環境マネジメント活動、及び事業活動全般への発展・向上 ・心のケア ・多文化交流、外国人の方の生活支援 ・福祉イベント等で、問題について話し、興味を抱いて下さる人を増やす など

【問10】[問9で、「10. 特に生かしていない」を選択された方] あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも) [n=94]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事や家事などがいそがしくて時間がない	40	42.6
2. 地域づくり等の活動をする場所がない	13	13.8
3. 必要な情報(内容・日時・場所等)が入手できない	14	14.9
4. 一緒に活動をする仲間がいない	22	23.4
5. 費用がかかってしまう	13	13.8
6. 家族や職場など周囲の理解が得られない	5	5.3
7. 取り組むきっかけがない、つかめない	30	31.9
8. どのように生かしたらいいのかわからない	30	31.9
9. 学びの成果を地域づくりに生かそうと思っていない	12	12.8
10. 地域づくりに生かせることを学んでいない	18	19.1
11. その他	4	4.3

【問10】あなたが、学びの成果を地域づくりに生かしていない理由は何ですか。



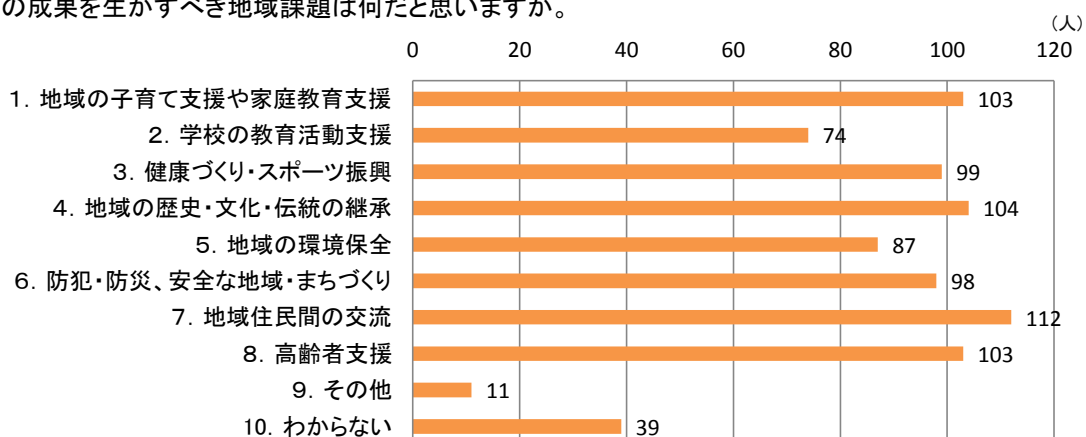
[11. その他]の内容(抜粋)

・自己啓発として考えているため ・学びの成果は私に厚みをもたせてくれているが、地域づくりに生かせるほど立派に育っていない ・自分の知らない事、知りたいことを学ぶだけで精いっぱい状況 ・現在の知識、能力ではそこまで至っていない

【問11】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思えますか。(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項 目	人数(人)	割合(%)
1. 地域の子育て支援や家庭教育支援	103	34.0
2. 学校の教育活動支援	74	24.4
3. 健康づくり・スポーツ振興	99	32.7
4. 地域の歴史・文化・伝統の継承	104	34.3
5. 地域の環境保全	87	28.7
6. 防犯・防災、安全な地域・まちづくり	98	32.3
7. 地域住民間の交流	112	37.0
8. 高齢者支援	103	34.0
9. その他	11	3.6
10. わからない	39	12.9

【問11】あなたは、学びの成果を生かすべき地域課題は何だと思えますか。



[9. その他]の内容(抜粋)

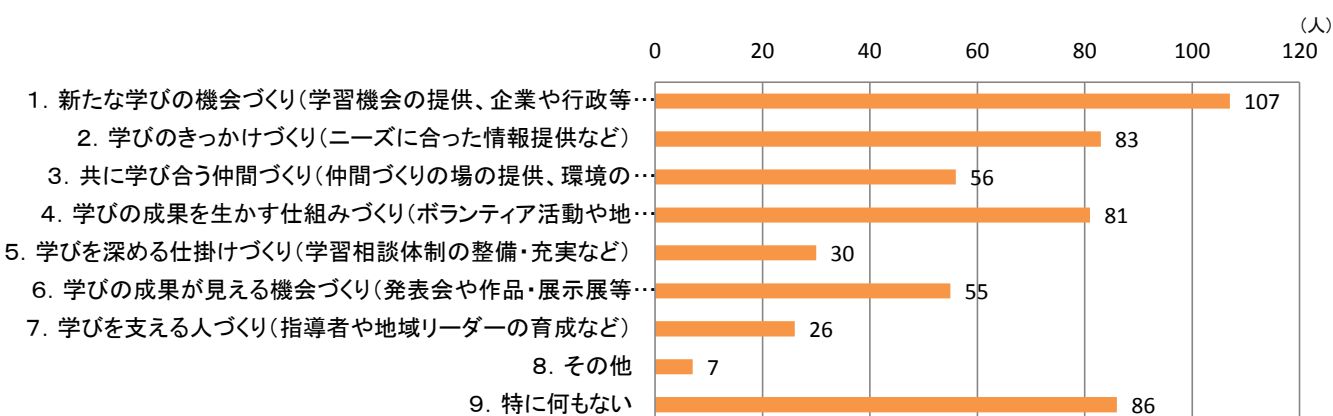
・後継者問題 ・地域との交流・仲間づくり ・情報が不足していること ・成果を還元する場が滋賀県のみならず日本では非常に少ない ・地域経済の振興 ・地域住民のモラルの欠如・徳の無さ ・求める人たちの立場の違い など

【問12】県や市町が「生涯学習社会づくり」を進めています。あなたが充実していると思う取り組みは何ですか。

(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 新たな学びの機会づくり(学習機会の提供、企業や行政等の新たな学習機会など)	107	35.3
2. 学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供など)	83	27.4
3. 共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供、環境の整備など)	56	18.5
4. 学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動、社会参画の機会など)	81	26.7
5. 学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実など)	30	9.9
6. 学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品・展示展等の充実など)	55	18.2
7. 学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成など)	26	8.6
8. その他	7	2.3
9. 特に何もない	86	28.4

【問12】県や市町が「生涯学習社会づくり」を進めています。あなたが充実していると思う取り組みは何ですか。



【8. その他】の内容(抜粋)

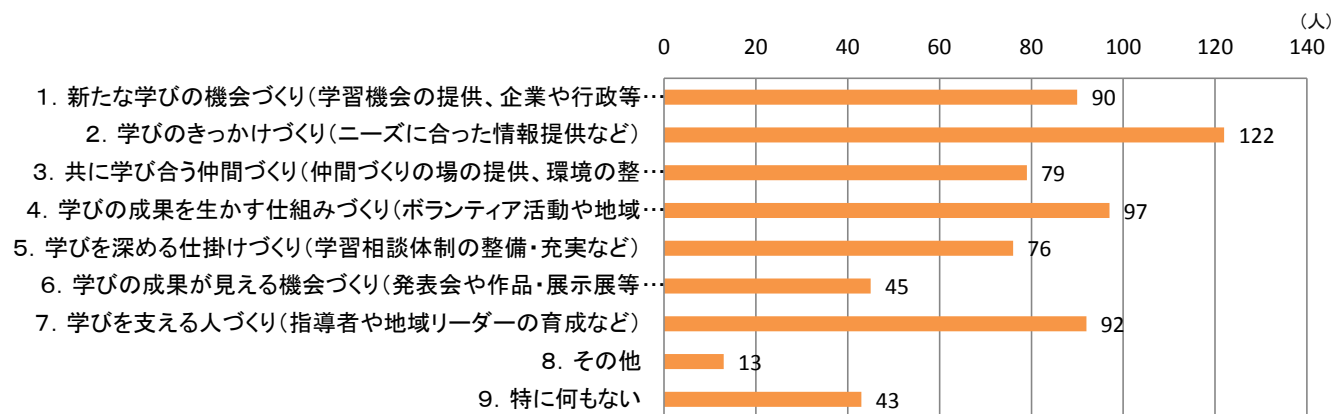
・大学と行政の連携。例えば、甲賀市では立命館大学とあいこうか生涯カレッジを開催している ・何が充実しているか、どう充実しているかがわからない
 ・県や市町が取り組んでいる「生涯学習社会づくり」のことを全く承知していないので評価できない など

【問13】県や市町が「生涯学習社会づくり」を進めています。あなたが不足していると思う取り組みは何ですか。

(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 新たな学びの機会づくり(学習機会の提供、企業や行政等の新たな学習機会など)	90	29.7
2. 学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供など)	122	40.3
3. 共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供、環境の整備など)	79	26.1
4. 学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動、社会参画の機会など)	97	32.0
5. 学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実など)	76	25.1
6. 学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品・展示展等の充実など)	45	14.9
7. 学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成など)	92	30.4
8. その他	13	4.3
9. 特に何もない	43	14.2

【問13】県や市町が「生涯学習社会づくり」を進めています。あなたが不足していると思う取り組みは何ですか。



【8. その他】の内容(抜粋)

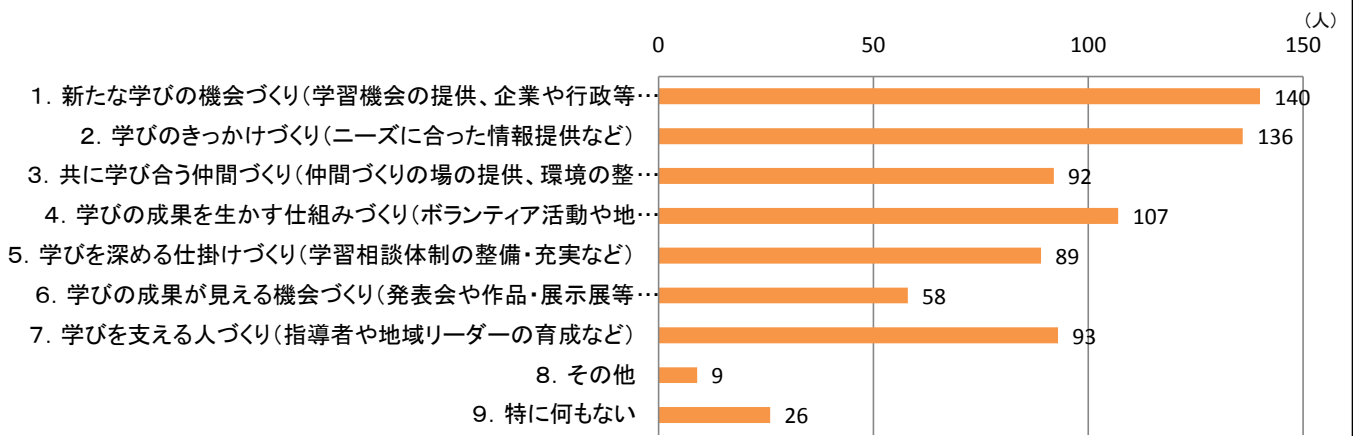
・金銭的な支援。提案を受け付けて、補助金を出す仕組みを拡大してほしい ・多系間の交流の機会 ・素人レベルの学びの機会はあるが、アマチュア~プロフェッショナル向けの学びの機会が不足している など

【問14】「生涯学習社会づくり」をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。

(回答チェックはいくつでも) [n=303]

項目	人数(人)	割合(%)
1. 新たな学びの機会づくり(学習機会の提供、企業や行政等の新たな学習機会など)	140	46.2
2. 学びのきっかけづくり(ニーズに合った情報提供など)	136	44.9
3. 共に学び合う仲間づくり(仲間づくりの場の提供、環境の整備など)	92	30.4
4. 学びの成果を生かす仕組みづくり(ボランティア活動や地域活動、社会参画の機会など)	107	35.3
5. 学びを深める仕掛けづくり(学習相談体制の整備・充実など)	89	29.4
6. 学びの成果が見える機会づくり(発表会や作品・展示展等の充実など)	58	19.1
7. 学びを支える人づくり(指導者や地域リーダーの育成など)	93	30.7
8. その他	9	3.0
9. 特に何もなし	26	8.6

【問14】「生涯学習社会づくり」をさらに進めていくために、県が今後どのような支援に力を入れるべきだと思いますか。



【8. その他】の内容(抜粋)

・ソーシャルネットワークを活用した情報共有できるチャンネル ・安価に学べる教室づくり ・生涯学習社会についての情報発信 ・様々な活動をしていくことの告知、周知 ・市町での以下の取組みの支援および、県全域での充実・補完(図書館蔵書の充実、人材バンクや講師登録・紹介) など

【問15】その他、生涯学習の推進について御意見がありましたら、記入してください。(任意)(抜粋)

- ・あらゆる世代が生涯学習について、興味をもつために、たくさんの広告・告知活動を展開して欲しいです。
- ・やはり、学習できる機会、場所の情報をより多く知ることが出来るシステム作りが必要だと感じます。
- ・何かの役に立ちたいと思っている人は多くいますが、無料はいけません。ボランティアと言ったとたんに、責任がなくなります。キチンとした報酬を得ることで、役に立つことの質も上がっていきます。
- ・学習したい内容を入力して検索すると、ボランティアの方々が教えてくれるような体制があれば良いと思う。例えば、パソコンの操作や知識・歴史・絵画・料理など。日時・場所を決めて指導してもらえたら良いと思う。
- ・仕事をしている人は、時間的に制約があるためになかなか学習する機会が取れないので、日程を考えて欲しい。
- ・仕事を通じて得た経験・知識・技能などを各個人がそれぞれ持っており、それらを有効に活かす場が無い。異なった業種を経験した人の技術を互いに公開しあえば、新しい何かが生まれる機会がある。そういう集まりもあっていいと思う。
- ・市役所などに「生涯学習」の町という標識・掲示をよく見かけるが、内容をあまりよく理解していなかった。今回のアンケートで、良く分りました。
- ・私の年齢になると、自分よりも子ども世代を優先したいと思うので、親子で一緒に学んだり参加できるものが良いです。きっかけがなかなかないので、地域であると嬉しいです。
- ・私個人としては、いつまでも自己を高めたいと思っているので、県には「新たな学びの機会づくり」を積極的に進めていただきたい。
- ・自分から能動的に学習の必要を感じて取り組むことが必要だと考えます。個人で取り組むよりグループで実施することが効果的です。更にアウトプットできる環境が必要です。
- ・少子化と超高齢化社会ですので、ますますこの様な取り組みは必要だと思われしますので、今後も積極的に取り組んでいただきたいと思えます。
- ・生涯学習と言ってもどうはじめて良いかどんなものがあるのかわからないのでいろんな情報が知りたいです。
- ・生涯学習の推進に関する予算等もあると思うので、大変だと思うが頑張してほしいと思う。行政が行うのは予算や場所、内容等の限界がある。企業と連携した学習がウインウインとなると思う。
- ・生涯学習は今後の生活をより充実するためにも必要になってくると思います。希薄な人間関係などの解消にもつながると思います。
- ・誰もが一生を通じて、必要な時に必要な内容を学び、その人個人や家庭、社会を豊かにし、課題解決していく、それが「生涯学習」の意義ではと考えるのですが、そのような「生涯学習」の意義が、広く社会(県内)で浸透しているかという、そうではないように思います。このあたりの普及啓発の取組みの拡充が必要ではと思います。
- ・平均寿命が伸びている現況下、老後の生活を豊かにする生涯学習の機会が増えればと思う。
- ・忙しくてなかなか実行できないが、機会が多ければ実行できるかもしれない。
- ・県主催の歴史探訪など、積極的にされていると思います。学んだ知識が、発揮できる機会、例えば、博物館でのボランティアガイドなどができる機会が増えればいいなあと思います。
- ・複数の生涯学習者が、自分はこのようにことを学び考え考察している、といったことを話し合い、意見を交換できる場があれば、何らかヒントが見つかるかもしれません。異分野の人の意見、近い分野の人の意見、参考にできるかもしれません。
- ・「うちでのこづち」や「きずな」、県美の勉強会、歴史博物館の講座など、いろんなところで学ばせていただきました。昨年は、役員も任期を終えていないし、県美も休館中。学ぶことは、自分のためにはなりましたが、学びの成果を地域にどうにかしたいのかわかりません。